

OKYAKUSAMA NO OTAKUHAIKEN!!

お客様のお宅拝見!!

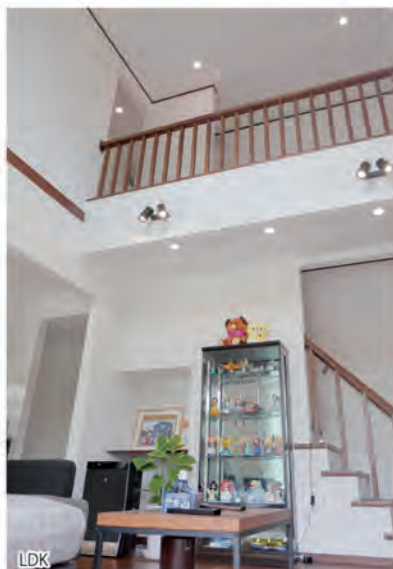
陽だまり | 浜松市 S様邸



姫街道を北にクルマを走らせると、柑橘畑が点在する丘陵地が広がります。それら橙色混じりの緑色と外壁の黒とのコントラストが美しい S様邸のご紹介です。

「陽光あふれる、広々リビングの確保が絶対条件でした。」この住まいのコンセプトをお聞きすると、声を揃えてお答え頂いた S様ご夫妻。

この住まいのもう一人?の家族、トイプードルのマックス君に招かれて、リビングに入ると、コンセプト通りの全面吹き抜けのリビングが広がります。二階の廊下は渡り廊下風になっており、吹き抜け空間を更にダイナミックに見せています。



隣接するダイニングは、奥様のマスト指定のアイランドキッチンスタイル。「キッチンからリビングを見ると、たっぷり陽ざしが注がれて、ほっこりします。憧れだったシーンをギュッと詰め込んだ感じです。」と奥様。リビングの西側には、和室が配置されています。佇まいは本格和室ですが、カラー畳や、

球体のランプシェード、薄紫色のサンシェードの演出により、和モダンなスペースに仕上がっています。

今回の住まいづくりの思い出をお聞きすると、「何も分からないから、全部聞きました。図面を見てもイメージが沸かず、(想いを)



共有するのが大変でした。でも全部初めての経験だったので楽しかったですよ。」「地縄を見た時には、ちょっと焦りました。『小さっ!』って(笑)。それが段々大きくなっていく感じがするんです。日々の変化を見るのも楽しかったです。」とご主人。「実家が建築現場近くにあるので、両親が毎日LINEで実況報告してくれたので助かりました。でも私より先に現物チェックしているのもちょっと複雑でしたね…サプライズ的なものが無くなっちゃいますし…」と奥様。



新築されて変化した事を伺うと、「友人が遊びに来てくれる頻度が多くなりました。皆でワイワイ・がやがやする事が多くなりました。泊まってもらう事も度々あるので、和室が大活躍です。」

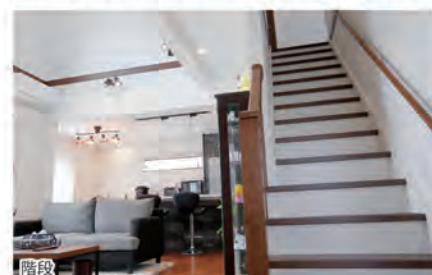


「そういえばこの前、七輪買ったんです。ウッドデッキを縁側がわりにして、庭先で魚を焼किながら、一杯やる。これが格別です(笑)。まるで昭和ですけど…」とご主人。

隣家が密集する住宅地や道路往来の激しい市街地では、なかなか実現できないひと時です。街の利便を少しだけ犠牲にした郊外の暮らしは、四季の変化を贅沢に楽しんだり、愛犬と日向ぼっこをしながら昼寝をしたり、気の置けない仲間たちと語り明かしたりと、少し前まで



ウッドデッキ



階段

当たり前に出た事を、もう一度、自分たちの日常に取り戻すことだったのかもしれない。